

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
34162	消防団活動事業	消防署	消防係	林 国久	赤坂 英幸	
		一次評価年月日	平成 24 年 3 月 1 日	連絡先(内線)	2602	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		0902	非常備消防事業	
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節	(コード選択)	4節	安心な生活環境の創出	
		項[基本施策]	(コード選択)	1項	災害に強いまちづくり	
		目[主な施策]	(コード選択)	6目	防災意識の高揚	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱		<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

消防団員

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

消防団の人員及び施設を活用して、町民の生命・身体及び財産を災害から保護するとともに災害を防止し災害による被害を軽減する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 火災予防・警戒・鎮圧
- 災害からの予防・対策・防衛
- 火災・地震・水害等の被害軽減
- 各種訓練及び大会の開催と参加

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	火災予防運動・警戒		回	21	21	21	1.00	21
	説明	火災予防運動・年末特別警戒等の実施回数		目標値設定の根拠	過去の実績による				
②	指標名	各種訓練及び大会実施回数		回	7	7	7	1.00	7
	説明	ポンプ操作・救急法・水防・規律訓練等の町主催訓練		目標値設定の根拠	過去の実績による				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	火災発生件数		件	9	12	10	0.83	10
	説明	辰野町の一年間の火災発生件数		目標値設定の根拠	過去の実績数及び今後の希望減数				
②	指標名	各種訓練及び大会の出動人員		人	1,200	1,200	1,300	0.92	1,300
	説明	各種訓練・大会に出動した団員数		目標値設定の根拠	過去の実績数及び今後の希望増数				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み
		78,051	81,933	73,154
対前年比	%		105	89.3
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		18,462	18,950	15,064
B)一般財源(税金)		59,589	62,983	58,090
①事業費	(千円)	69,946	74,177	65,567
対前年比	%		106	88.4
②人件費の概算	(千円)	8,105	7,756	7,587
対前年比	%		95.7	97.8
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
		8,105	7,756	7,587
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00
臨時職員		0.00	0.00	0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 箕輪町、南箕輪村と北部消防連絡協議会による連携を執っている
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 町民の声、町民の代表者

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

分団の統合

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

町民の生命財産を災害から保護するため今後も継続する。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

活性化事業等により、活動規模が広がることを期待する。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

ダ インシジャー、全国消防団員意見発表大会優勝など全国に向けて良いPRができた。これらにより町内の火災件数・損害額も減少した。今後も地域防災組織、奉仕団と連携しながら町の安全・安心のための努力をしたい。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択